

『人生を何度やり直しても、あの時期、あの経験だけは外せない』



無邪気だった子ども時代

幼稚園時代はふらふらしていて、気付いたら迷子になる系だったと聞いている。木登りや雲梯、ボールとかで遊んでいた記憶があるので活発だったと思う。小学校に入ってから低学年の時は楽しかった気がする。

いじめの対象になったことが人生を変える

小学校後半は、みんなと同じ行動しないと仲間じゃないよ的なクラスメイトがいた。自分はその中で合わない子だという位置づけになったのか、いじめの対象になりはじめた。4年生の担任は何か問題があると全部やられた方のせいにする先生。ランドセルを踏まれて相談すると「ランドセルを踏んでやりかえせ」と理不尽な対応をされた。自分はそんなことしたくなかった。先生がおかしいと味方してくれた友だちもいて、嬉しかった。5年生で担任が変わってもいじめがなくなることも対応がよくなることもなかった。相談しても聞き入れてもらえず、2週間学校を休んだこともある。通級の時間は環境が変わるためホッとできたが、なにより家族が味方してくれたことが心強かった。悲しいというよりそんな考えが嫌だったし怖いと感じた時期。クラスのメンバーや席順、担任の先生で大きく左右された学校生活だった。この時の経験が、「自分に合った中学に行きたい」というモチベーションになった。

そして人生の転機となった中学三年生、卒業研究との出会い

小学校卒業後は私立の中高一貫校に進学した。入学が決まったときは、苦しんだ小学校から離れられてホッとした気持ちと、合格したんだという嬉しい気持ちがあった。でもそれ以上に、授業が楽しみだった。なぜなら、**受験する学校を選ぶために体験授業に行ったとき、自分の考えを発表しあえる雰囲気がとても気に入ったから**。この中学は3年生で卒業研究に取り組む。最初は大変そうと思っていたけど、1~2年生の学習を通じて少しずつ研究してみたいことにつながるようなカリキュラムだったこともあり、やっているときは楽しかったし、終わったあとは寂しい気持ちになった。

TEENSでもテーマについて相談することが出来た。他にも自分の足で調べたことで達成感もあったし、結果として学年の代表に選ばれてとても嬉しかった。**その時に研究したことが大学で学ぶものにもつながった**。コロナで自粛になる前のこの時期は、夏休みにオーストラリアに短期ステイするなど、自分の人生が変わる忘れられない一年になった。

自分らしくいられる場所がある

小学校以降は、学校以外に通う場所ができた。TEENSやオンラインの講座もその一つ。安心する場所ができたことで、その日を楽しみに頑張ることが出来た。中学から通い始めたTEENSではいろんな話をした。学校とは違う雰囲気でも講座も楽しかった。自分の考えを発表して意見が紹介されたりベストコメンテーター賞をもらったりしたことは自分の自信になった。講座ではチャットで思いついたときにすぐに発信できるので自分には向いていた。自分の話したことが相手に伝わることで広がったり、同じ考えの人に出会えることで安心感もあったし、気付きもあった。

支えてくれる大人の存在って大きかった

両親や先生、TEENSや他の居場所のスタッフなど**大人が味方になってくれることも自分には大切だった**。担任の先生がよかった小学6年生の時は、いじめが続いていても授業は楽しかった。味方になってもらえることで自分が悪いわけではないと安心することができた。実はいじめがあった時期、現実を忘れる場所を作りたくて話題を出さなかったけど、今振り返ったときはTEENSに相談すれば違う意見が聞けたかもしれないと思う。

進路についても大人の助言もあって決めることができたと思う。

失敗は成功のチャンス

コロナ禍の高校生活では、**いろいろな躓きがあった。それでも、その経験を活かし成長しているように思う。**

大きかった失敗の一つに2年生の教科選択がある。文系なのに、つい理系科目をとってしまい、数学の勉強に時間が割かれてしまった。結局は数学で評価を落とした。ただ、3年生になったときはうまく教科を選ぶことができた気がする。授業もラクで楽しくなったし、内申点を上げることが出来た。受験で必要になる評価の点は高1高2の方が比重が大きい。高3で得意な教科を選択し提出物をあきらめたりせずやったことはよかったと思うが、1~2年でもっと違う科目の勉強に時間を使えたら、全体の評価が上がったのではないかと思った。

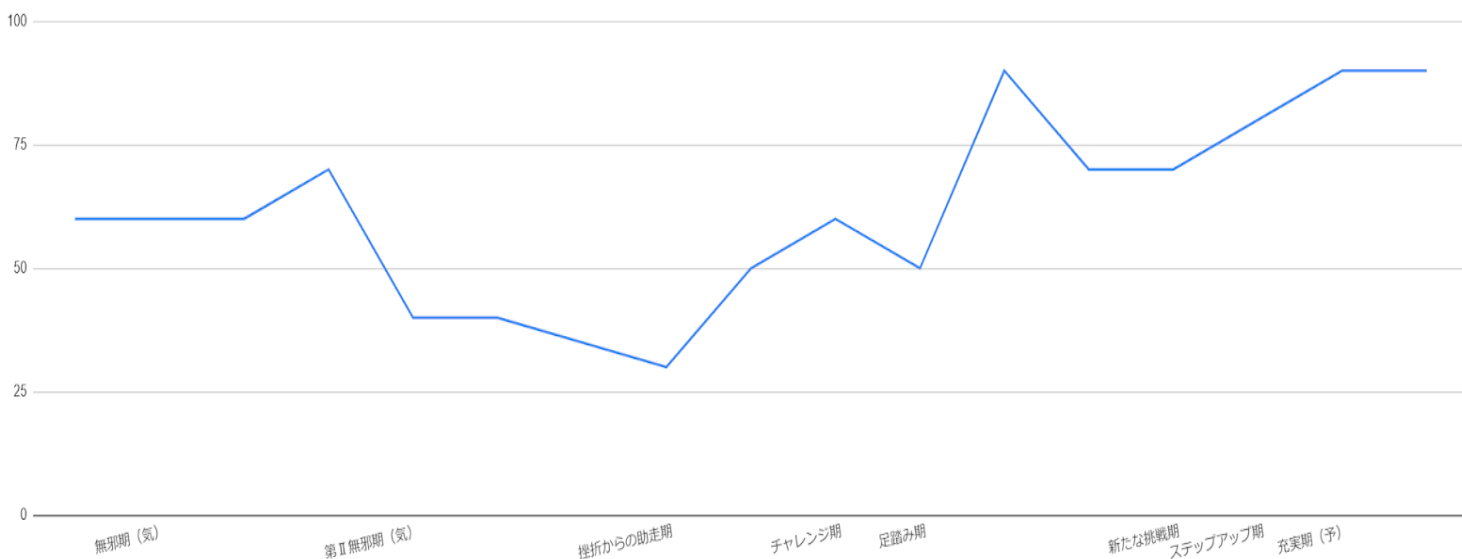
また、自分の困りごとだった睡眠について、病院に相談したことで自分に合った薬を処方されたのもこの時期。服薬後、授業中に居眠りしてしまう時間が無くなった。小さいころから悩んでいた昼間の睡眠と眠気から解放されたのは大きい。

高校時代は交通事故にあうなど連続して大きなケガをした。自分は楽観的に考えてケガをしちゃうことが多いことに気づき、無理をしないように過ごすようになった。他にも、初めてアルバイトを経験した。働くことは結構大変だったけど、どうということが自分に向いていて、どうということが向いてないかを考えたり意識したりする一つのきっかけになった。

やりたいことは無限大

これからも、卒業研究のような自分がハマるものを見つけていきたい。相談できる友達も作りたいと思っている。

18年間のモチベーショングラフ



小学校：公立通常級（通級）⇒中高校：私立一貫校⇒私立大学（心理）進学予定

利用時期：中2～高3 参加プログラム：週2日の個別セッション

TEENSで行っていたこと：学校の課題／進路相談や面談／講座への参加／スケジュール管理

長所：好奇心旺盛（興味があることを自分からしらべて行く力）／行動力（じっとしているのが嫌だ。とりあえず行動できる）

過去の自分に一言：相談先はたくさん作ってね。